



## 「世界一空が美しい大陸 南極の図鑑」

武田康男 著

草思社，2010年8月，  
108頁，1680円（本体価格）  
ISBN 978-4-7942-1770-7

本書は第50次南極地域観測隊（2008年12月発，2010年3月帰国）で気水圏モニタリング隊員として，昭和基地での越冬観測に従事された武田康男氏（千葉県立東葛飾高等学校教諭）が南極で撮影した写真をまとめた本である。「清浄な空と，手つかずの大地で起きる，夢のように美しい自然現象」と本の帯に書いてあるが，まさにその通りの大変美しく，貴重な写真が紹介されている。青色や紫色のオーロラ，日の出の時の緑，青，紫の閃光（通常はグリーンフラッシュと言われる現象），極成層圏雲，極中間圏雲，南極氷床上のカタバ風による地吹雪，様々な形の雪結晶など，この本でしか見ることができない貴重な写真である。

著者の武田氏は，昭和基地では二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスのモニタリング観測や大気中のエアロゾル観測などに従事したが，その観測業務の合間の時間で撮影した写真との事。たぶん，他の隊員が夕食後に食堂で談笑したり夜食を食べたりしている時に，防寒服に着替えて寒い屋外に出て撮影したり，午

前3時に一人で起きて撮影したような写真が多いのであろう。

本書の第1部は「空」。オーロラ，朝焼け・夕焼け，蟹気楼，雪結晶，氷晶による現象，太陽と月，星空，グリーンフラッシュ（青，紫のフラッシュを含む），雲が紹介されている。第2部の「地表」では，地面，ブリザード，雪面と霜，冰山，動物が紹介されている。3つのコラムでは南極には3つの極があること，地球温暖化と南極の氷，南極での写真撮影についての解説もある。

著者の武田氏はこれまでも「空の色と光の図鑑」（共著）、「楽しい気象観察図鑑」などの本も出版されており，本書は8冊目との事。本書のさらなる特徴の1つは，印刷された写真の色調が大変良い事である。これは撮影された写真の露光が適切なことに加えて，しっかりとした色調の本を出そうとする出版社の努力も大きいのだろう。

このような本書は南極の自然に興味がある方だけでなく，大気，光，雪，氷が関わる自然現象に興味がある多くの方に推薦します。特に学校教育に関わっている方にはぜひ学校で児童や生徒，学生達に本書を紹介していただきたく思います。本書を読んで南極観測に興味を持ち，この中から将来の南極観測隊員が出ることを期待します。

（北見工業大学 亀田貴雄）